平成24年度（対23年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　24　年　5　月　10　日

部局名	消防本部	所属名	警防課	所属長名	日原　龍一郎	電話	459-7804

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	3361	事務事業名称	警防管理事業	短縮コード	経常	3361	臨時	3858

予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費

区分	☐ 自治事務　☑ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	消防法　道路運送車両法

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

各消防車両及び資機材等に係る保守・整備や事務等を統括して実施することにより，多様化する災害活動に対応する体制を整えることを目的とし開始する。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

平成23年4月1日，警防管理事業から事務事業コード4205救急救助管理事業に分離し事務事業を実施して行く。

総合計画の施策体系		
６本の柱（章）	04	第４章安心安全都市をめざして
大項目（節）	02	第２節市民の安全
中項目	02	2．消防
小項目	02	(2)消防体制の充実
細項目	02	②消防車両等の整備
実施計画の計画事業		

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	消防が管理している消防車両。
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 消防車両及び資機材等の整備を実施した。 ※平成24年度に計画していること： (1) 消防車両及び資機材等の整備を実施する。 (2) はしご車（勝田台分署）のはしご装置修繕を実施する。
意図（何を狙っているのか）	消防車両の維持管理及び点検を行い，消防力の充実，強化を図る。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区分			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	車両台数	台	21	21	21	21
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	車検台数	台	14	19	19	13
	指標２	一般車両修理件数	件	130	119	121	119
	指標３	保守点検台数	台	3	4	4	4
成果指標	指標１	稼動可能台数	台	21	21	21	21
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	3361	事務事業名称	警防管理事業	所属名	警防課

			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	16,292	10,390	10,405	14,348
		その他	千円	164	0	1,073	0
	主な事業費の内訳			救急業務ﾒﾃﾞｨｶﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ協議会負担金,応急手当普及啓発用消耗品,消防車両等車検整備費,消防車両及び資機材の修理費,Nox・PM低減装置対応修理	消防車両等車検整備費,消防車両及び資機材の修理費	消防車両等車検整備費,消防車両及び資機材の修理費	消防車両等車検整備費,消防車両及び資機材の修理費
人件費(B)			千円	46,841.9	14,530	14,530	14,530
トータルコスト(A)＋(B)			千円	63,297.9	24,920	26,008	28,878

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☐ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☑ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☐ 達成していない ☑ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☐ 可能性はない ☑ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☐ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☑ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☑ 可能性がない	最良の方法で消防車両の整備及び点検を行っているため。
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☐ ない	

コード	3361	事務事業名称	警防管理事業	所属名	警防課

今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止・休止 ☐ 事業完了 ☑ 現状のまま継続	老朽化する消防車両等の維持管理を継続することにより，消防力も維持されるので今後も継続する。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☐	☐	☐
	不変	☐	☐	☑
	低下	☐	☐	☐

老朽化する消防車両等の維持管理を継続することにより，コストは増加するが消防力は維持される。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

(1)　車両の基準台数と現有台数について。
(2)　年間の車両修繕回数について。

所属長コメント	車両の老朽化等による修理等が増えているが，適正な管理をし消防業務に支障のないよう努める。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止・休止 ☐ 事業完了 ☑ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。